日出学園中学校・高等学校

メディアセンターだより

Vol. 01

2018年5月号

武善・長瀬

主体的・対話的で深い学びの中心施設としてリニューアル！

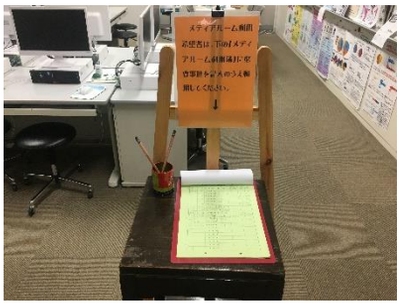
新学習指導要領では今後学校教育における学びの指針として「**学ぶことに関心や興味を持つ主体的な学び**」「**協働学習や先哲の考え方を手掛かりに考える対話的な学び**」「**情報を精査し、創造に向かう深い学び**」の３観点が示されました。

この３つにこたえる施設としてメディアセンターが今年度リニューアル。書籍を扱っていた図書館部門、ＰＣを扱っていたメディア部門が完全に融合します！書籍とネット、複数のメディアを活用しながら充実した学びを実現していきましょう！

リニューアル１．メディアルーム月水金18時まで開放！

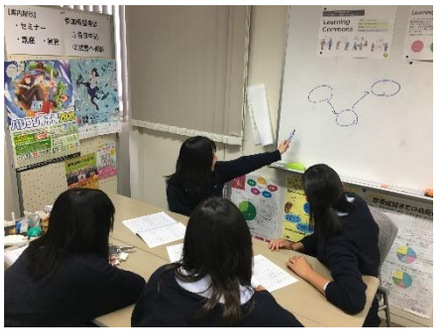
今年度からメディアルームも図書館の開館時間と同じ18時まで昼休み・放課後とも月・水・金に使用できることになりました（火・木はパソコン部が使用）！

使用の際には入り口にあるメディアルーム使用簿に記入をお願いします。ただし、動画を見たり音楽を編集したりする時にはヘッドホンを着用する等、周りのことも考えながら上手に使っていきましょう。



リニューアル2.メディアルーム内にラーニングコモンズ設置

ラーニングコモンズとは、最近学生の学習支援を意図して大学図書館に設置されている施設。今年度からメディアルーム内にミニラーニング・コモンズを用意しました！



議論、調べごと（ＰＣでも図書室の本でも）、ホワイトボードの活用、簡単な工作等何に使ってもＯＫです！

リニューアル３．スクールヨミダスを導入！

「スクールヨミダス」とは読売新聞の電子アーカイブで、1986年以降の読売新聞を自由に検索、印刷して使用することができます。調べ学習等に活用してください。生徒機のデスクトップや中高生徒共有のショートカットからアクセスすることができます！

2020年問題！？

2020年といえば何を思い浮かべますか？オリパラですか。もしかしてケムール人とか？（わからない人は調べよう）。冗談はさておき、2020年に大学入試制度が大きく変わりそれに伴って小中高の学習内容も変わります。もう少し具体的にいうと高1（4年生）が大学入試の時に変わるということです。もちろん下の学年も一緒です。

そこで図書館では大学入試がどう変わるのかということについて、その傾向と対策を知り2020年以降の大学入試に主体的に臨めるための本を用意してみました。

①『**2020年の大学入試問題**』・②『**2020年大学入試改革**』は大学入試改革を知りどう対処すべきかを考えるための本。

③『**AO入試の本**』は大学入試改革の中でＡＯ入試に焦点をあてたもの。

④『**学習の作法**』は大学入試改革に向けての学習法について述べる。中学生が読むべき本。

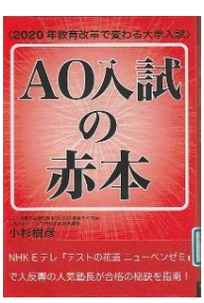
⑤『**思考力問題の研究**』は2020年入試以降実際に出されるであろう問題を近年の大学入試問題から集めたもの。レベルの高い大学ではすでに実施されています。

挑戦してみるとよいでしょう。

① 376.8-イ

② 376.8-マ

③ 376.8-コ



④ 375-カ

⑤ 376.8-ニ

WANTED～捜索願～

右の3冊は3月に行った蔵書点検で明らかとなった行方不明本です。もし間違って持っていってしまった人がいたら図書館へもどしてください。これらをどこかで見つけた方は図書館まで持ってきてください。

またこれらについてなにか情報をお持ちの方は図書館までお知らせください。よろしくお願いします。

編集後記　情報関係で最近ホットな話題といえばやはり海賊版サイトへのブロッキング。日本が誇るコンテンツ産業の未来を考えれば見過ごせない問題ではありますが、憲法でも保障されている通信の秘密を蔑ろにすることもできず、一筋縄ではいかない問題。信頼できる情報へ自由にアクセスできる環境の有難さを改めて感じます。皆さんも書籍、ネットそれぞれの利点を理解しながら、上手に情報を活用していきましょう。